

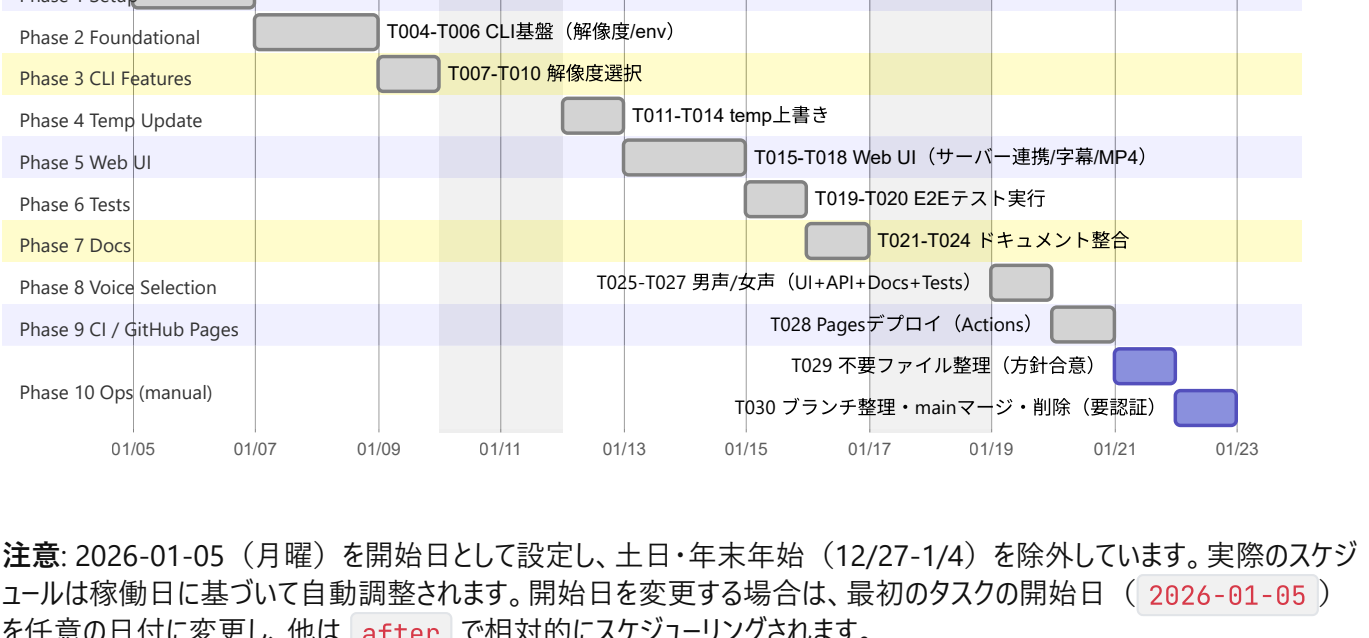
タスク一覧: Slide Voice Maker

入力: `/specs/001-Slide-Voice-Maker/` からの設計ドキュメント 前提条件: plan.md（必須）、spec.md（必須）、data-model.md、contracts/ バージョン: 1.0.0 開始日: 2026-01-05

形式: [ID] [P?] [ストーリー?] 説明

- [P]: 並列実行可能（異なるファイル、依存関係なし）
- [US1]: ユーザストーリー1（解像度選択）
- [US2]: ユーザストーリー2（temp上書き更新）

実装スケジュール



注意: 2026-01-05（月曜）を開始日として設定し、土日・年末年始（12/27-1/4）を除外しています。実際のスケジュールは稼働日に基づいて自動調整されます。開始日を変更する場合は、最初のタスクの開始日（`2026-01-05`）を任意の日付に変更し、他は `after` で相対的にスケジューリングされます。

- [P]: 並列実行可能（異なるファイル、依存関係なし）
- [US1]: ユーザストーリー1（解像度選択）
- [US2]: ユーザストーリー2（temp上書き更新）

Phase 1: セットアップ

目標: プロジェクト構造確認と仕様ドキュメント作成

- ☒ T001 specs/001-Slide-Voice-Maker/ フォルダを作成
- ☒ T002 [P] spec.md（機能仕様書）を作成
- ☒ T003 [P] plan.md（実装計画）を作成

チェックポイント: ドキュメント準備完了 ☒

Phase 2: 基盤（ブロックング前提条件）

目標: 解像度選択・temp管理の共通インフラ構築

⚠ 重要: このフェーズが完了するまでユーザーストーリー作業は開始不可

- ☒ T004 src/main.pyにRESOLUTION_MAP定数を定義（720p/1080p/1440p→幅ピクセル）
- ☒ T005 [P] src/main.pyに--resolution引数をargparseに追加
- ☒ T006 [P] 環境変数OUTPUT_MAX_WIDTHへの変換処理を実装

チェックポイント: 基盤準備完了 - ユーザーストーリー実装を開始可能 ☒

Phase 3: ユーザストーリー1 - 解像度選択（優先度: P1）🚀 MVP

目標: ユーザーが動画生成前に出力解像度（720p/1080p/1440p）を選択可能にする

独立テスト: `py src/main.py --resolution 1080p` を実行し、出力動画の解像度い1920x1080であることをFfprobeで確認

ユーザーストーリー1の実装

- ☒ T007 [US1] src/main.pyで--resolution引数をパースしRESOLUTION_MAPから幅を取得
- ☒ T008 [US1] src/main.pyで取得した幅をos.environ["OUTPUT_MAX_WIDTH"]に設定
- ☒ T009 [US1] src/processor.pyの_get_output_max_width()が環境変数を正しく読み取ることを確認
- ☒ T010 [US1] 無効な解像度値の場合は720p（デフォルト）にフォールバックするバリデーション追加

チェックポイント: 解像度選択機能が独立して動作 ☒

Phase 4: ユーザストーリー2 - temp上書き更新（優先度: P1）

目標: 毎回の実行時にtempフォルダを自動クリアし、古いファイルを残さない

独立テスト: 2回連続で動画生成を実行し、output/temp/内に1回目のファイルが残っていないことを確認

ユーザーストーリー2の実装

- ☒ T011 [US2] src/processor.pyにclear_temp_folder(temp_dir)関数を追加
- ☒ T012 [US2] clear_temp_folder()内でshutil.rmtree()とos.makedirs()を使用
- ☒ T013 [US2] process_pdf_and_script()の冒頭でclear_temp_folder()を呼び出し
- ☒ T014 [P] [US2] PermissionError時のエラーハンドリングとログ出力追加

チェックポイント: temp上書き機能が独立して動作 ☒

Phase 5: Web UI（優先度: P1）

目標: サーバー（src/server.py）と連携するWeb UI

独立テスト: index.htmlでPDF/CSV入力→音声生成→WebM/MP4ダウンロードが可能であることを確認

Web UIの実装

- ☒ T015 index.htmlにRESOLUTION_OPTIONS配列を定義（label, value, width, height）
- ☒ T016 index.htmlにサーバー連携機能を実装（PDF/CSVアップロード、動画生成、ダウンロード）
- ☒ T017 src/server.pyにFastAPIエンドポイントを実装（PDF/CSVアップロード、動画生成、ファイル一覧、ダウンロード）
- ☒ T018 CSV文字化け対処をTextDecoderベースに強化（UTF-8/Shift_JIS等 + RFC4180最小対応）

チェックポイント: Web UIが独立して動作 ☒

Phase 6: 仕上げとテスト

目標: E2Eテスト実行、ドキュメント更新、最終検証

- ☒ T019 [P] tests/e2e/test_resolution.pyでCLI E2Eテスト（解像度・非空WebM/MP4確認）
- ☒ T020 [P] tests/e2e/test_local_backend.pyでバックエンドE2Eテスト
- ☒ T021 [P] README.mdを要件/テスト/実行手順に整合
- ☒ T022 [P] docs/完全仕様書.mdを現行仕様に整合
- ☒ T023 [P] specs/001-Slide-Voice-Maker/{spec,plan,quickstart}.mdを整合（リンクはGitHub URLへ）
- ☒ T024 E2Eを実行し100%成功を確認

チェックポイント: 全機能テスト・ドキュメント完了

Phase 8: 男声/女声（話者）選択

目標: 解像度選択の右に男声/女声プルダウンを追加し、画像・音声生成で選択した話者を反映する。

- ☒ T025 index.htmlに男声/女声プルダウン（ツールチップ付き）を追加
- ☒ T026 src/server.py / src/processor.pyにvoice_gender受理とEdge TTS voice反映を追加
- ☒ T027 E2Eテストにvoice_gender受理の回帰テストを追加

チェックポイント: UI選択が音声生成に反映される ☒

Phase 9: GitHub Pages

目標: `index.html` 等の静的成果物をGitHub Pagesへデプロイ可能にする。

- ☒ T028 .github/workflows/pages.ymlを整備（dist生成→Pagesへデプロイ）

チェックポイント: ActionsからPagesデプロイできる ☒

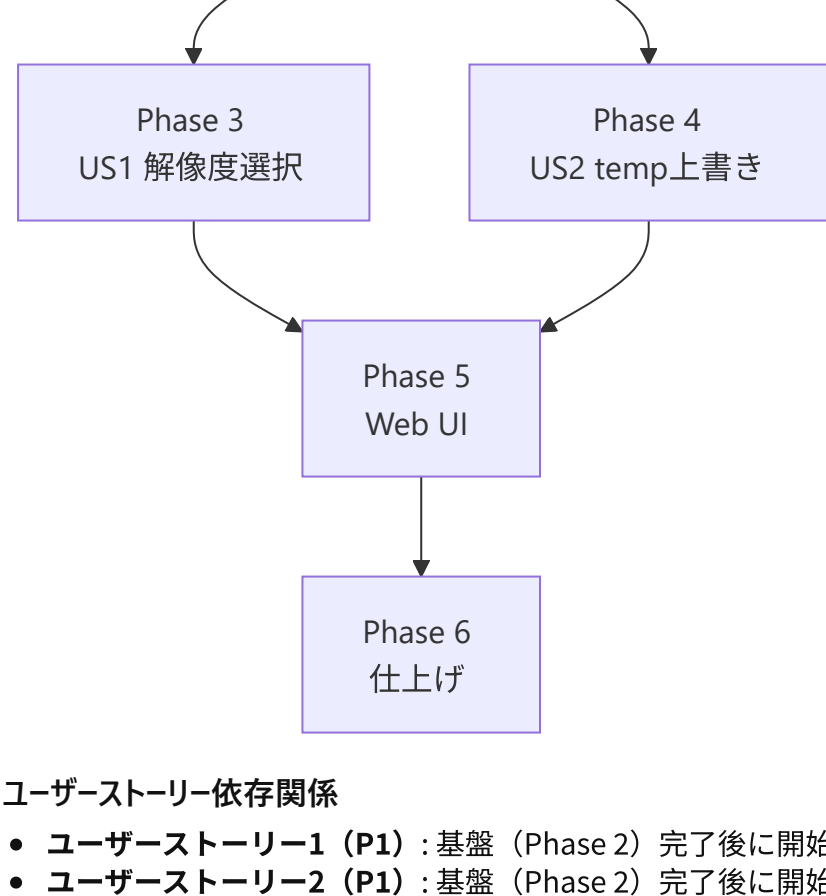
Phase 10: 運用（手動作業）

重要: 下記はローカル/リモートのGit認証・運用判断が必要なため、自動実行ではなく手動確認を必須とする。

- ☐ T029 「pdf以外の不要ファイル」の定義を合意し、削除対象を確定（生成物のみ等）
- ☐ T030 ローカルとリモートの全ブランチをmainへマージし削除（認証が必要）

依存関係と実行順序

フェーズ依存関係



ユーザーストーリー依存関係

- ユーザーストーリー1（P1）: 基盤（Phase 2）完了後に開始可能 - 他のストーリーへの依存なし
- ユーザーストーリー2（P1）: 基盤（Phase 2）完了後に開始可能 - US1とは独立

並列実行可能タスク

Phase	並列実行可能タスク
Phase 1	T002, T003
Phase 2	T005, T006
Phase 5	T015-T018
Phase 6	T019-T023

並列例: 基盤完了後

```
# 基盤完了後、2つのユーザーストーリーを並列開始可能:
チームA: "ユーザーストーリー1 - 解像度選択"
チームB: "ユーザーストーリー2 - temp上書き"
```

実装戦略

MVP優先（ユーザーストーリー1のみ）

- Phase 1: セットアップを完了 ☒
- Phase 2: 基盤を完了 ☒
- Phase 3: ユーザストーリー1を完了 ☒
- 停止して検証: 解像度選択機能を独立してテスト ☒
- 準備ができればデプロイ/デモ

インクリメンタルデリバリー

- セットアップ+基盤を完了 → 基盤準備完了 ☒
- ユーザーストーリー1を追加 → 独立してテスト → デプロイ/デモ（MVP!） ☒
- ユーザーストーリー2を追加 → 独立してテスト → デプロイ/デモ ☒
- Web UIを追加 → 独立してテスト → デプロイ/デモ ☒
- 各ストーリーは前のストーリーを壊さずに価値を追加

タスク進捗サマリー

項目	数値
総タスク数	30
完了	28
未着手	2

注意事項

- Python 3.10.11を使用（`py -3.10`）
- UTF-8エンコーディング必須
- 土日・年末年始（12/27-1/4）はスケジュール対象外
- 各チェックポイントで動作確認を実施
- [P] タスク=異なるファイル、依存関係なし
- [US*] ラベルはトレーサビリティのためタスクを特定のユーザーストーリーにマップ

完了条件

- すべてのタスクが完了状態になっていること
- CLI E2Eテスト（T019）が成功すること
- バックエンドE2Eテスト（T020）が成功すること
- ドキュメント整合（T021-T024）が完了すること